

2015年8月12日

世田谷区教育委員会事務局 御中
世田谷子ども守る会 御中

東京大学 大学院総合文化研究科
広域科学専攻 環境分析化学研究室 助教
小豆川 勝見(しょうずがわ かつみ)
Tel 03-5454-6566
Email cshozu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

川場村にて採取された環境試料・食材などの放射性物質について

2015年7月27日に川場村内で採取・購入した環境試料(土壤、食材)について、ガンマ線の測定を行い放射性セシウムおよび放射性カリウムの定量を行いましたので、下記の通りご報告いたします。

記

検体	土壤(なかのビレジ屋上など4検体)、食材3検体		
測定方法	粉碎後、U8容器に充填。Ge半導体検出器にて600秒から50,000秒測定。放射能は購入日に換算済み。		
測定結果	表の通り		

表 2015年7月27日に川場村内で採取・購入した試料の放射性物質

		$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/kg})$	$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg})$	$^{40}\text{K}(\text{Bq/kg})$
土壤	なかのビレジ B 棟屋上	639 ± 30	2,500 ± 89	ND(435)
	かまどの灰	183 ± 15	711 ± 41	633 ± 190
	キャンプファイヤーの灰	21.2 ± 3.8	79.1 ± 10	ND (235)
	21世紀の森内で空間線量が最も高かった地点	913 ± 37	3,610 ± 110	561 ± 180
食材	ブルーベリー	0.236 ± 0.049	0.628 ± 0.090	30.1 ± 2.4
	味噌	ND (0.303)	ND (0.321)	152 ± 4.4
	リンゴジュース	0.383 ± 0.050	1.43 ± 0.11	40.2 ± 2.4

以上